一小だより

武蔵野市立第一小学校

平成２９年　　１０月号

No.２９-０６（４１６）

http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou001/

これからの教師はファシリテーター

研究推進委員長

今年度、武蔵野市の英語教育推進リーダーという立場を務めています。

平成３２年度から３，４年生の「外国語活動」が週１時間、５，６年生の教科「外国語（英語）」が週２時間程度導入されることに向け、第一小学校を含む市内全小学校で円滑に計画が進むよう、先生方に向けて情報を発信したり研修を行ったり、現在行われている授業の補助を行ったり、来年度の計画を練ったりすることが主な役割です。それらに伴い、７．８月の約２か月、オーストラリアのシドニーにて研修を受ける機会がありました。研修で学んだこと、感じたことを３つお伝えしたいと思います。

一つ目は、「教わる側になって学んだことは、とても大切な経験」ということです。２か月間、平日は毎日大学に通い、９：００から１７：３０まで講義を受けたり演習を行ったりしました。こんなに長い時間、机に向かうことはきっと高校生以来ではないか…と思いながら、学んでいました。久々に授業を教わる側を経験したことで、先生の言葉がけや表情が子供に大きく影響すること、先生の指示が短く分かりやすいと安心して学習できること、そして褒められた時は素直にとても嬉しいことなど、改めて分かりました。教師こそ、時には教わる側を体感することがとても大切だと思います。

二つ目は、「オーストラリアは多文化主義国」ということです。研修を受けていたオーストラリアのシドニーは、イギリスをはじめとするヨーロッパ系、アメリカ系、アジア系、オセアニアの国々の出身の人等、多くの国の人が移り住んだり、学びに来ていたりする街でした。街にはいろいろな国の料理のレストランが揃い、見聞きする言語は英語に限らず中国語、イタリア語、ギリシャ語…など、いろいろとありました。どの国の人も過ごしやすい街であることを実感し、それらの人々とコミュニケーションをとって生活するために、世界共通語としての英語を話せることが重要だと感じました。

三つ目は、「これからの教師はファシリテーター」ということです。

研修では主に英語教授法を教わりましたが、その他にもよく話題に挙がった事柄が、「これからの時代の教師は、ファシリテーターになる必要がある」という内容でした。「ファシリテーター(Facilitator)」とは、「子供たちに学びの機会を与え、助け、最終的に自律して学ぶことができるように促す役割」ということです。

これまでの教育では、知識を得ること、知識を得てそれを活用することが重要視され、教師は「知識を教える人」の傾向がありました。しかし、インターネットが発達している今、「知識」は得ようと思ったら調べることで得られます。また、ＡＩロボットに代表されるような便利な製品が次々に開発されているので、知識を得ないでも生活することが可能です。しかし、「知識を得たいと思う意欲」や「問題に直面した時にその状況から逃げずに何とかしようとする粘り強さ」は、インターネット検索をしたり、近くにロボットがいたりしても、容易に得られるものではありません。どのように学ぶと学ぶことが楽しくなるか、また学びたいと意欲が高まるかを体感させること、困った時にはどのようにしたらよいか経験をもとに考えたり助けを求めたりしながら解決する体験をさせることなどが、これからの教師に求められるという話を何度も耳にしました。

その話を伺うたびに、現在第一小学校の校内研究で講師としてお迎えしている大熊雅士先生のことを思い出していました。よく大熊先生からも同様の話を伺っていたからです。第一小学校の研究してきた内容はこれからの時代の教師に求められる、価値のある内容であることを、異国の地で実感しました。その校内研究の発表会を１１月１０日（金）に第一小学校で行います。「自分の考えをもち、学び合うことのできる児童の育成 ―授業展開力の追究― 」をテーマに、２年半取り組んできた校内研究の経緯をお伝えする研究発表会です。

保護者の皆様にもご協力いただくことが多くあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

◇今月の行事予定

１日（日）都民の日 セカンドスクール（５年　１０月３日まで） ３日（火）親子給食会（１－３）地域探検（２年） ４日（水）親子給食会（４－１） セカンドスクール振替休業日（５年） ５日（木）セカンドスクール振替休業日（５年） 親子給食会（４－２） ６日（金）遠足（３年　高尾山）栄養指導（５年） ９日（月）体育の日 １１日（水）４校時授業（４－２を除き、給食後下校） 研究授業　（５校時授業　４－２） １２日（木）委員会活動 １３日（金）遠足（１・２年　昭和記念公園） １５日（日）東日本学校吹奏楽大会（吹奏楽団）	１６日（月）オリンピック・パラリンピック教育活動 （４～６年　３・４校時） １７日（火）なかよし活動 １８日（水）４校時授業（給食後下校） １９日（木）代表委員会 ２０日（金）遠足予備日（１・２年） ２３日（月）なかよし班掃除（～１１月１日まで） 遠足予備日（３年） ２４日（火）演劇鑑賞教室（３年） ２６日（木）クラブ活動 ２７日（金）一小まつり ３０日（月）さつまいも掘り（１・２年） 社会科見学（５年）栄養指導（６年） ３１日（火）さつまいも掘り予備日

～１０月の生活目標～

「みんなと仲良く遊ぼう」

生活指導委員会

過ごしやすい季節となり、外で体を動かすには今が一番よい時期なのではないかと思います。休み時間には、友達と一緒に楽しそうに遊ぶ姿が見られます。しかし、友達と遊ぶのは楽しいことばかりではありません。かかわりが増える中で、自分の思いとは別の思いをもった友達と気持ちがぶつかり合うことがあり、相手の言葉に傷ついたり傷つけられたりし、言い争いやけんかになることがあります。

仲良くするということは、問題を起こさずに付き合っていくことではありません。生じた問題の中から、異なる意見や立場を尊重したり、相手の良さに気付いたり、お互いに思いやったり、認め合う大切さを知り、どうしたらみんなで仲良く楽しく遊べるのか学んでいきます。ここから社会生活に必要なルールやマナーを身に付けます。遊びの中から子供たちは多くを学んでいます。学校はそういう場を提供する大事な役割を担っています。天気の良い日には外遊びを勧め、体を思いきり動かしながら子供同士がかかわる場を作っていきたいと思います。

特別活動について

特別活動部

学校の教育活動の中には「特別活動」という領域があります。この特別活動には、なかよし班活動・委員会活動（代表委員会を含む）・クラブ活動などが含まれます。この３つの活動の特色のひとつは、異学年交流であるということです。異学年の集団で話し合って決めたことを実行して活動を振り返る経験により、協力や思いやりなどについて深く考えることができるようになります。

今年度は１０月２７日に「一小まつり」を行います。代表委員会の児童や、各クラスの店長を務める児童を中心に、全校児童が笑顔でいっぱいになるよう、準備を進めています。こういった異学年の交流で、下級生は上級生に感謝や憧れの気持ちをもち、上級生は下級生に優しく接しながら思いやりの気持ちをもちます。一つの活動の中で、児童の発達の段階に応じた学びがあり成長があります。様々な活動を展開させる中で、達成感や充実感を味わってほしいと思います。

第一小学校には、『子どもいじめゼロ宣言』があります。平成２６年度の代表委員会で話し合ってつくられたもので、一小の児童全員でつくられたものということになります。これには「いじめのない楽しい学校になるように努力します。」「みんなと協力し、仲のよい、楽しいクラスにします。」「思いやりの心をもち、人の気持ちを考えて行動します。」と、１年生から６年生にとって分かりやすくて、大切な思いや願いが込められています。個人の言葉や考えのみでなく、みんなでどうしていけば楽しい学校を作っていけるのかを考えられる第一歩にもなっています。第一小学校の子供たちには特別活動を通して仲間と互いのよさを認め合ったり自分の成長に気付いたりしながら、自己肯定感や社会性を高めてもらいたいと考えています。